

水棲ガメの 飼い方



Aquatic Turtle



カメは爬虫類に分類され、カメの仲間は約300種類とされています。その中でも水棲ガメの種類（特に半水棲ガメ）は全体の約3分の2と最も多くの種類がいます。
飼育上、大切なことは水場と陸地（浮島など）を作る事です。飼育温度は28℃前後を保つようにしましょう。排泄物が多いので水質が汚れやすく病気の原因になりますので、こまめな水換えを心掛けましょう。

水棲ガメと 楽しく暮らすために!

主な種類



ニシキゲクビガメ

美しい人気種、頭に黄色の太い筋模様が入る。飼育も容易。
最大甲長:約25cm



キボシシガメ

オスよりもメスの方が大きい。甲羅の黄色い斑点が星を散りばめたように見える鮮やかな色彩。
最大甲長:約10cm



ニシクイガメ

頭部のラインがくっきり美しい、小さいときから頭部が大きくかわいい人気種。
最大甲長:約15cm



カブトニオイガメ

ドロガメの仲間。甲羅に放射状の褐色の筋模様が入る。日光浴を特に好む。
最大甲長:約15cm



ダイヤモンドガメ

キスイガメとも呼ばれる。黄色から真っ黒まで色彩が様々な美しいカメ。
最大甲長:約20cm



ニホンシガメ

日本の本州、四国、九州などに生息する固有種。子供のときはゼニガメと呼ばれる。
最大甲長:約20cm



●水棲ガメの仲間は次のように分けられます。

①半水棲ガメ 水中と陸地の両方で生活し、カメの中でも最も種類が多い。上記の6種もこの分類に入ります。

②水棲ガメ 水中をスイスイ泳ぎ、ほとんど水の中で生活する種類。スッポンやワニガメなど。

※他に水中にいるよりも湿度の多い陸地で生活するハコガメやヤマガメの仲間もいます。

こんな場合は…

皮膚に白いモクがついている
めくれている

甲羅が
やわらかい

耳のあたりが
おかしい

糞が出ない、あるいは
下痢気味である

水が汚れている、日光浴不足が考えられます。まめな水換えや十分な日光浴をさせてあげて快適な環境を作ってあげましょう。



こんな症状の他、少しでもおかしいと感じたら爬虫類を診てくれる動物病院へ連れて行きましょう。早目に連れて行くことで症状も早く回復します。1日でも長く一緒に暮らせるように、毎日、変わった所はないかしっかりチェックしましょう。



ペットは最後まで
責任を持って飼育
しましょう。

※池や川に捨てないで!生態系を乱す原因となります。

生き物を触った後は必ず手を洗いましょう。



ISO 9001
認証取得

当社はより一層の品質向上をめざし、ペット用品メーカーとして初めて品質保証の国際規格であるISO9001の認証を取得しました。



このやさしさを人と社会へ
ジェックス株式会社

EXO TERRA専用ホームページ

www.gex-ip.co.jp/exoterra 充実の動画コンテンツ!

■新商品の情報はこちらを

click

エキソテラ

検索

水棲ガメの飼い方

えさ

消化吸収のよい人工フードを与えましょう。腸内の善玉菌を増やすイースト菌、カルシウムを配合したEXO-TERRAタートルフードがオススメです。成長段階に合わせたフードを与えることにより水棲ガメを健康に育てられます。人工フード以外を与える場合には、丈夫な甲羅や骨の形成のためにビタミン類やカルシウムの補給も重要です。



底砂

飼育する種類に合わせて用意してください。えさと一緒に口に入っても安全なサイズと素材のもの、または口に入らないサイズのものを選んでください。

水槽

成長したときの甲長に合わせて始めから大きめの水槽を用意することをおすすめします。水位が高すぎると、脱走する恐れがあるので気を付けましょう。



〈ディスプレイ例〉
タートルテラリウム
300 (幅30cmタイプ)

〈ディスプレイ例〉
タートルテラリウム
600 (幅60cmタイプ)

水質調整剤

水槽立ち上げ時やメンテナンス時には必ずカルキめきを行った水を使用してください。バクテリアの働きでフン等の沈殿物汚れを分解、ニオイを抑える水質調整剤を入れることでメンテナンスを軽減させることができます。



タートルバイオ

お手入れ用品

オーナメントの汚れや、水槽についたカルシウム・石灰汚れをきれいに落とすことができます。しっかり水洗いした後に設置し直してください。爬虫類専用なので安心です。



ガラスクリーナー
オーナメントクリーナー

アクセサリ

甲長の3倍の浮島を用意することで、快適なバスキングスポットを作ることができます。水中のアクセントとしてアクセサリを入れることで水棲ガメの水中での隠れ家や休憩スポットにもなります。

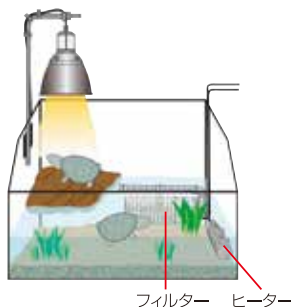


クロコダイル

タートルバンク

ヒーター・フィルター

冬場には水中設置タイプのヒーターをお使いください。ヒーター使用中は水が蒸発しやすいので水位には注意してください。水棲ガメは水を汚しやすいのでフィルターを用意して、水をきれいに保ちましょう。水が汚れていると水が飲めず脱水症状になります。



フィルター ヒーター

〈ディスプレイ例〉
タートルテラリウム450 (幅45cmタイプ)

有効紫外線

丈夫な甲羅を保つには紫外線 (UVB) が不可欠です。太陽光の代わりになる紫外線ランプを灯ける事は健康に育てるためにも必要です。

照射器具：ライトドーム (ライトブラケット)
紫外線ランプ：レプタイルUVB100



レプタイルUVB 100

ライティング

冬場は状況により、自然光に近い光を設置することで日中の活動環境を整えます。水が直接かからない位置に設置してください。

照射器具：ライトドーム (ライトブラケット)、
グロースタンド
白熱球：スワンブグロー



〈セット例〉
ライトドーム+
ライトブラケット

ライトドーム

スワンブグロー
(水滴がかかっても割れにくい強化ガラス製)

温度計

水棲ガメに快適な温度・水温を保てるよう、温度計でチェックしましょう。

ホットスポット 28~32℃を目安に
水温 24~28℃を目安に
※生体によって最適な温度は変わります。

水棲ガメの体を知ろう



鼻
嗅覚は相対的に敏感でエサや異性をすばやく嗅ぎ分けます。

口
(クチバシ)
歯がなくあごはクチバシで覆われています。植物食のものはフチの形状がノコギリ状に、肉食のものはカミソリ状になっています。

耳
目の後方にあり、皮膚で覆われています。聴力はあまりよくありません。

目
色の識別はできませんが、視力は一般的によくはないと言われていて、寝る時はまぶたを閉じます。

甲羅
硬い甲羅で身を守ります。リクガメと違って泳ぎやすいよう流線型になっています。ハコガメの仲間は蝶つがいがあり甲羅を曲げることができます。

四肢
ほとんどが指と指の間に水かきがあり、指が長くなっていて水中で動きやすくなっています。

尾
尾はメスよりオスの方が長い。尾のつけ根に排泄孔があり、水中で排泄します。